

令和2年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	～これからの農業を考える～ 松川農業みらい塾
事業主体 (連絡先)	松川町役場 産業観光課 農業振興係
事業区分	(6)産業振興、雇用拡大 イ 農業の振興と農山村づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,200,000 円 (うち支援金 : 748,000 円)

事業内容

自立した農業経営者を育成し、荒廃農地の増加に歯止めをかけるため、松川農業みらい塾を開催する。また、同時に農業経営者同士の交流を図り、横の繋がりを構築していく。

①あの人シゴト論②農業経営論(基礎講座)③農業経営論(特別講座)の3本柱とすることで、経営基盤の強化及び農業経営に対する気づきを得ることができる。

所得が向上することで、後継者や担い手の増加を促し、荒廃農地の増加に歯止めをかける。

【開校式】



【目標・ねらい】

- ①Iターン新規就農者の定着
- ②雇用者の創出と定住促進
- ③先進的な農業経営地域のアピール
- ④農業者同士の交流・情報交換の場
- ⑤荒廃農地の減少

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① 新規就農目標人数 : 2名/年
令和2年度実績 : 3名
- ② 農業従事者の定住目標 : 1名/年
令和2年度実績 : 2名
- ③ 県外受講者目標 : 1名
令和2年実績 : 0名 (コロナウイルスの影響有)
- ④ 農業者同士の交流、情報交換の場
・講師の方とシードルのイベントを企画
・講師の話を参考に、実際にクラウドファンディングの実施
- ⑤ 農地拡大者 令和2年度実績 : 2名

※自己評価【 A 】

【理由】

中長期的な計画であり、成果がでるのはまだ先を想像していたが、当該年度から行動する受講生がいた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

5年間継続することで経営基盤が整った経営者を増やし、規模拡大及び雇用創出に繋げる。令和2年は、本事業3期目の取り組みであり、受講生の自主的な取組も見えるようになった。次年度は、仕事論については、みらい塾実行委員会を立ち上げ、実行委員会が企画・提案をおこなうこととする。基礎講座・特別講座については町が引き継いで運営する。将来的には、みらい塾実行委員で仕事論のみならず、さまざまな講座を企画して、南信州全体の農業経営の発展に寄与していきたい。